

急傾斜地崩壊対策事業事前評価調書

路線・河川等名		おおにゆう 大丹生	事業名	急傾斜地崩壊対策事業	補助・単独の別	補助
事業主体		京都府	事業箇所(区間)	おおにゆう 舞鶴市大丹生		
事業概要	目的	当該箇所は、保全対象として人家7戸や避難路である市道平瀬崎線が存在し、平成23年5月の豪雨により斜面の一部が崩落するなど危険な急傾斜地である。今後の大雨によりがけ崩れの発生が懸念されるとともに、避難路である市道平瀬崎線は、土砂災害特別警戒区域内に位置しており集落が孤立する恐れもあるため、急傾斜地崩壊対策工事により土砂災害から地域の安全を確保する。				
	内容	施工延長 329m (擁壁工、法面工) 全体事業費 2.5億円				
	上位計画等	明日の京都 [府民安心の再構築(暮らしの安心)] 社会資本総合整備計画 (水の安全・安心基盤整備)				
	スケジュール	着手年度 平成26年度 完成目標年度 平成29年度				
事業の社会経済情勢及び地元情勢等	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	○土砂災害防止法に基づく特別警戒区域内に人家、市道平瀬崎線(避難路)が存在し、がけ崩れが発生した場合、地域住民に与える影響は大きい。 ○特に、市道平瀬崎線(避難路)は、土砂災害発生時における集落の孤立を防ぐ重要な避難路となっており保全が必要である。				
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	○人命、避難路である市道平瀬崎線が土砂災害から保全される事業であり、投資効果は大きい。(B/C=1.2)				
事業の効率性及び良好な環境形成・保全	コスト削減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	○大規模な切土や地形の改変は最小限とし、擁壁の構造や落石防護柵の施設計画を検討し自然環境保全に努める。 ○現地発生土を他工事に積極的に流用調整することで他工事を含めた総事業費のコスト削減を図る。				
総合評価		本事業は、人命の保全及び地域防災力向上の観点から、新規事業着手の必要がある。				

おおにゅう
京都府 大丹生地区 急傾斜地崩壊対策事業
 きょうとふ まいづるし おおにゅう
 京都府 舞鶴市 大丹生

○事業目的

当該箇所は、京都府北部の舞鶴市に位置し、保全対象として人家7戸、市道（避難路）を含む急傾斜地である。

今後の大雨によりがけ崩れの発生が懸念されるとともに、避難路である市道平瀬崎線は、土砂災害特別警戒区域内に位置しており集落が孤立する恐れもあるため、早急に対策を行う必要がある。

（平成23年5月発生履歴有）



○箇所概要

- 事業年度 : H26~H29
- 全体事業費 : 250百万円 (B/C=1.2) H26事業費 : 60百万円
- 保全対象 : 人家7戸、市道(避難路)330m
- 実施内容 : 擁壁工、法面工 H26実施内容 : 用地補償、法面工

